

野菜産地としての発展を目指そう

～南八甲田高原野菜生産組合総会～

南八甲田高原野菜生産組合（比内保幸組合長）は4月22日、平川市の葛川克雪管理センターで、「第45回通常総会」を開き、組合員約40人が出席しました。

総会では、今後も野菜産地として継続的に発展するため計画出荷体制を整え、所得向上と経営安定を目指すことを確認しました。

また、役員改選では、小林喜代勝さんが組合長に選任されました。



今後の方針を確認した組合員

収支決算・予算案などを審議

～板柳農業青色申告会通常総会～

板柳農業青色申告会（三戸清部会長）は4月8日、通常総会を開きました。新型コロナウイルス感染防止のため、検温やマスクの着用、手指の消毒などを徹底して行いました。総会では、収支決算・予算案などについて審議が行われ、賛成多数により全議案が可決されました。



議案を審議する会員

新鮮な野菜並ぶ

～ふれあい市オープン～

女性部みなみ支部田舎館班のふれあい部会（中村久子部会長）が運営する「ふれあい市」が4月25日にオープンしました。

店内にはねぎやにんにくなどが並び、今後収穫が本格化するとより多くの農作物が並びます。

ふれあい市は11月30日まで、午前6時から11時30分までの営業時間となります。皆様のご来店を心よりお待ちしております。



野菜などを購入した来場者（左）

適正処理で環境保全

～廃プラスチック回収作業～

J Aの各グリーンセンターでは、廃棄物の適正処理のため廃プラスチックの回収作業を行っています。

4月20日には常盤基幹グリーンセンターで回収作業を実施しました。生産者が使い終わったビニールシートなどの農業資材や肥料の空袋などを持ち込み、J A職員が荷下ろしと計量。約2トンが回収され、リサイクル業者が引き取りました。



廃プラスチックを計量する職員